

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	図書館管理事業		コード	103201	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（図書館）	
	作成者	平林 洋子			
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	社会教育の充実
		予算科目	施設管理費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし
		設置条例	市立岡谷図書館条例		

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	生涯学習の拠点として利用者の求める図書資料、視聴覚資料を整え、その貸出及び資料提供を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	読書支援や、課題解決のための資料や情報提供	

## 5 施設の管理運営状況

指定管理者		25年度指定管理料	円
施設における通常業務	施設の管理、運営、図書資料等の管理、貸出、閲覧、読書普及活動など		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>上記の通常業務に加え、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の空いている時間を、食事室や親子ルームとして開放し、利用者の利便性向上に努めた。</li> <li>・7月から9月は開館時間を30分繰上げた。(10時→9時30分)</li> <li>・自動ドア改修、下水道排水設備工事、防水改修工事等行い、安全性と快適性を図った。</li> <li>・新病院建設が始まり、庭に仮設駐車場を設置し、利用者の便を図った。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	病院建設担当部署と連絡調整に努めた。		

## 6 施設の利用状況

\*②・③はどちらかの欄に記入

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	101.3%	101.3%	101.3%	
年間開設日数(日)	282	287	286	281
1日の開設時間(時間)	9	9	9	9
年間利用可能時間(時間)	2,538	2,583	2,574	2,529
年間利用実績(時間)	2,572	2,617	2,607	
② 年間利用者数(人)	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数(件)	292,588	294,787	270,690	270,000
有料利用件数	0	0	0	0
無料利用件数	292,588	294,787	270,690	270,000
減免措置件数	0	0	0	0
④ 1日あたり利用者数、件数	1,037.5	1,027.1	946.5	960.9
⑤ 施設利用状況の説明	新病院建設工事による駐車場不足と、2月の週末2回の大雪による利用件数の減少			

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	25,592,972	10,577,872	11,508,347	25,096,038
経常経費	7,671,143	9,417,622	9,762,397	9,496,038
臨時的経費	17,921,829	1,160,250	1,745,950	15,600,000
* 臨時的経費の説明	施設修理、改修（自動ドア、下水道排水、防水）			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	13,920,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000
正規職員の人数(人)	1.74	1.55	1.55	1.55
③ 合計コスト(①+②)	39,512,972	22,977,872	23,908,347	37,496,038
前年度比		58.2%	104.0%	156.8%
財源	32,294,088	22,581,708	23,520,907	36,980,038
内訳				
一般財源				
特定財源	7,218,884	396,164	387,440	516,000
* 特定財源の説明	自動販売機売り上げ等			
④ 施設使用料年間収入額	0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	74	74	82	
前年度比		100.3%	110.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 92.1%	1
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 0.0%	0

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	<p>(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市町村の施設と比較すると滞在型図書館という観点から多少見劣りし施設も手狭になっていることが課題である。</li> <li>・新病院の建設に伴い、周囲の道路環境の変化や慢性的な駐車場不足による利用者離れが課題である。</li> </ul>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内レイアウトの工夫や昇降機や暖房機器の更新等を行い、現施設の有効活用を図る。</li> <li>・新病院建設担当部署と連絡調整をし、利用者が安全快適に利用できるように努める。</li> </ul>
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	15,600,000	円	予定時期 H26年9月
内容	昇降機更新工事		